

管理者の非違行為が発覚！？

大阪仕業検査車両所では、朝の出勤点呼後に安全作業を行うために危険予知（KY）トレーニングをKYシートを用いて行っています。

11月22日、朝の出勤点呼後に行うトレーニングは運転KYなのに労災KY用のシートが用意されていました。これに気付いた社員が指摘し、運転KYシートに差し替えさせ、トレーニングを開始しました。

この事について社員がそばにいた高橋慎一検修科長に尋ねました。

点呼準備は気付いた者が行うの??

社員：高橋科長！これ（KYシート）は誰が変えるのですか？

科長：決まっていない。

社員：決まっていない作業なんて無いでしょう。ちゃんとこの事を5W1Hで入力して報告して下さい。

科長：気付いた者がすればいいんだよ。

社員：そしたら実績書も気付いた者が記入すれば良いではないですか。

科長：作業書は厳密に決まっているんだよ。

社員：そうしたらこの作業も厳密にせなアカンやろ。わしらも一字一句間違えたらアカン言われとんねん。

高橋科長は管理者の非違行為を見逃すのか！

既に本人訴訟における管理者の証言で、管理者は社員の喚呼や順番等の些細な間違いや作業実績書等の誤記入等をすべて非違行為として、パソコンに5W1Hで入力して報告していること、そして、その入力内容は管理者であれば誰もが閲覧できることが明らかとなっています。そうすると、当然この事象も管理者の非違行為として報告されていなければなりません。

作業実績書は厳密に決まっていたの！

高橋科長は以前、『作業実績書』の「丸囲み」を誰が記載するのか尋ねた際に「班長だ」と断言しておきながら、その日の内に、「先の発言は間違えだ」と訂正したことがありました。（分会情報No.161参照）

この高橋科長の発言は非違行為として報告されていますよね。

**管理者に甘く、現場社員に厳しい職場を許さず、
管理者の非違行為をしっかりと監視しよう！**